

❖ お薬手帳用シールの例

冠動脈を広げて、狭心症の発作を予防するお薬です。
ただし発作時に飲むお薬ではありません。
症状にかかわらず、医師の指示どおり毎日忘れずに服用しましょう。

全身の血管を広げて、血圧を下げる作用は少ないといわれています。ただし、絶対起こらないとはいえません。
立ちくらみや動悸などのお薬や病気の症状などの可能性があります。気になる症状がある時はご相談ください。

特に飲み初めや量を増やしたとき、頭痛がみられることがあります。

お薬によって脳内の血管が広がることによるもので、“ズキン、ズキン”という痛みが特徴です。
症状が強く、気になる場合はご相談ください。

口内炎に注意！

このお薬には、口腔潰瘍、舌潰瘍、肛門潰瘍、消化管潰瘍の副作用の報告があります。特に飲む量が多い場合、量が増えた場合には注意が必要です。

口内炎などの症状は、飲み始めてから数カ月、数年後にみられることもあります。気になる症状があるときは、ぜひ早めにご相談ください。

併用してはいけないお薬があります。

男性機能障害(ED)のお薬、肺高血圧のお薬は、一緒に飲むと血圧が下がりがすぎでしまう危険性が高く、一緒に服用することはできません。

服用中の他のお薬は必ずお薬手帳に記載し、医師、薬剤師に確認してもらうようにしましょう。

ナイアシンに注意

このお薬は、体内でナイアシン(ニコチン酸とニコチン酸アミドをあわせてこう呼びます)になります。ナイアシンはビタミンBの一種で、体にとって必要なものですが、摂りすぎると顔面紅潮、かゆみ、発赤、吐き気、下痢、肝障害などが発現する可能性があります。お薬による口内炎のリスクが高くなってしまうかもしれません。

サプリメント、一般用医薬品でナイアシン、ニコチン酸、ニコチン酸アミドを摂取されている方は、薬剤師にご相談ください。